

バストス週報

第百廿五号
昭和廿七年
七月十日
発行

登録名義人
森幸一
代行者
バストス台議会
C.P. 26

代
一社
外部
祭行所
バストス社
週報社
RUA PRES.
VARGAS
C. P. 112
編輯者
森幸一
印刷
音

バストスの平和と連絡の
ため「文非一家」一部を
。廣告は「バストス週報」へ。

大同團結は先づ実践から (一)

掛け声ばかりでは駄目

。ウニオン工區の再誕生
難産であったがウニオン工は遂
に生れた。去る七月十二日産後
が駆けつけた時は同區の會館を産
所として産高く産れて居た。早
速役員選挙となり

新區長 池田佐次郎氏
副區長 京野万四郎氏
會計 板垣達志氏

の諸氏就任。直ちにバストス自治
會へ加入した。先づ大慶至極と申
エひ及い。之にてバストス自治會
は殆んど移住地内の諸区を包含し
たわけに戦前の泰やかさには及ば
ぬ。これと打って一九の形態は整え
たといふべきである。觀るにウニ
オン工區は戦後の思潮混乱を極め
た時解散をしま、七年の長きに亘
り區制放棄の情態を続けて来たの
であるが其の間に一部有志にて區制
再編成を唱へた事も再三であ
つたに拘はらず遂に成立し、
不かつた。又區民の大半は
或は心中成立を希って居た事も
へられるが自發的に發芽する時機
に達して居るからたのであらう。
その區制停止期間に諸氏は何か
と不便を感じたであらうか、ここ
ろが実際には何も不便はなかつた
ようである。組長たの区長たの面
倒な仕事は魚い区費はおさす道
修理もひと委せ、区や組の交際は半
減する。と合で繁る氣樂であつた
その上、市街地に近いので情報新
いものがある。其の日、入手され
何の不自由もなかつた。
此の安易感が同區の結成を遅れ
せ、た一つの理由である。合、つた程
處にもある思潮の逆流といつた程

度の戦後の副産物であった。但し
前者の不便を感じなかつたのは地
の利と既成団体よりの不断の仕送
りの為めであつて、謂はゞ他人の營
養と不労無償にして吸収して居た
と言へぬ事もない。
自治の精神の救除して居る民は末
前人が又は啓蒙を必要とする低級
不蕃族に近い。國家の爲してこれ
で國家の爲政に協力してこそ始め
て近代人といひ得るのである。
この標を意味から先づ自ら三の
村を守り進歩と協力し、精神的物質
的の負担を喜んで共受すること天
地の神が人間に教へた第一課であ
る。教へて苦言を呈してウニオン工
区再誕の祝詞とするものである。
一人もし一里の労役を強いは二
里行くべし
M 生



FAIENDAS
CASAS PERNAMBUCAS
FILIAES EM TODO O BRASIL

又々寒波来
油断は禁物
うす着はきんもつ
温いフランネル
パリト用のガジミラ
何でも揃って居り
ます
安くて品のよいのが
何より白慢
早いがお徳

入植祭リニア賞籤番号発表

幸運の人々にはおめでとう様なりや
去る七月十二日午後十一時石橋自治会長宅に於て各長
並に週報社立会の上リニア抽籤を行った所左の番号
が当選した

- 一等 〇五四六 ファリアア ミシン 一台
- 二等 一ニ六六 ラジオ 一台
- 三等 二九三九 蓄音器 一台
- 四等 二五三六 五等 〇九四六
- 六等 三四八三 七等 二四八八
- 八等 二九三〇 九等 一九三〇
- 十等 〇九七一 十一等 二二六五
- 十二等 一四五一 十三等 三六四三
- 十四等 〇〇五七 十五等 三〇三二
- 十六等 三六七四 十七等 〇八五五
- 十八等 二五九一 十九等 一八三九
- 二十等 〇〇五二 (賞品、当選リニアと引換)

DENTISTA DR. Y. OKUDA



新しい
診療所は
アデマール
バロス街
一六二番
ロタッソン登着所まへ
(バル本田さんの上隣り)

田
奥
田
耕
ド
ト
ル
バ
ス
ト
ス
郵
局
三

歯科医
院

最新の新設備
最新の技術
お互いに歯を大切にしましょう

御挨拶

ながらく皆様の御世話になつて居りま
したが今回都合上ピラホ市に転居することになり
ました。在植中の皆様の御厚情を深謝いたします

昭和二十七年七月十四日

東野福壽

女子三藝品展覧會入賞発表

- 一席 鴨原ユリ子 (アルト) トリアアデレンダ
 - 二席 三宅澄子 (ウニオン)
 - 三席 鴨原ユリ子 (アルト)
 - 四席 都築多利子 (コロリア) ホーロ
 - 五席 溝部貞子 (コロリア) トリアアデレンダ
 - 六席 中津克子 (アルト) つまみ細工
 - 七席 田中弘子 (ホンチン) トリアアデレンダ
 - 八席 貝岐ジュリア (ホンチン) 女子服
 - 九席 藤本節子 (ホンチン) レンソの刺繍
 - 十席 矢野清香 (コロリア) トリアアデレンダ
- 總出品点数 百五十一

農産品展覧品評會入賞発表

- 一等 フロケツ 藤林延藏
 - 二等 カサカタ 菅波 誠
 - 三等 カサカタ 萩原幸太郎
 - 秀逸 サウテ 小沢将男
 - シヤカフ
 - 一等 カスカッタ 味野謹子
 - 二等 カスカッタ 味野 豊
 - 三等 カスカッタ 藤和太郎
- (白色レクホン)
(ニューハンフシヤ)

蕎麦之部

- 一等 シヤカフ 今任吾吉
 - 二等 カツラ 白須克治
 - 三等 ウラシ 畑中尚太郎
- 住作ニ名
アルツラ 阿部米重
ホンチン 伊藤熊二郎

大豆之部

- 一等 アルト 木内 篤
- 二等 ホンチン 相川和義
- 三等 カサカタ 緒方光昭

アマンドチン之部

- 一等 カサカタ 桑原久次郎
- 二等 ホンチン 相川和義
- 三等 ウニオン 池田 謙次

カプエー之部

- 一等 カサカタ 矢野定一
- 二等 アルト 鴨原 蔵
- 三等 カサカタ 阪東米吉

大豆之部

- 一等 カサカタ 矢野定一
- 二等 カサカタ 馬場 均
- 三等 ウニオン 入江 均

フエジョン之部

- 住作 アルト 清家平治
- 小豆之部
- 一等 カサカタ 貝岐辰吉
- 二等 サウテ 萩原勝男

農産品評會成績つらき

棉之部

一等 カスカッタ 上山 明 二等 ウチエ 星島 実
 二等 アルト 齊藤 義志

ミーリヨ之部

一等 クロリア 吉浦 怡 二等 カクタ 萬谷 進
 三等 ウチエ 山名 藤次男 佳作 クロリア 水本 昭

バタタ之部

一等 カクタ 上田 佐平 二等 カクタ 垣本 佐武郎
 三等 クロリア 吉浦 怡 佳作 アルト 河野 静男

野菜之部

佳作 クロリア 吉浦 恒喜 シヤカラ 泉 定 吉
 レホーリヨ

一等 クロリア 新津 牛丸 二等 クロリア 岩田 武一郎
 里 イモ

一等 フロレンソ 古賀 一敏 ショウガ

一等 ウニオン 中原 克己 ニンジン

一等 クロリア 河村 國武 レンコン

佳作 フロレンソ 豊田 光男 ホーレンソウ

一等 クロリア 上ノ島 惣太郎 大根

佳作 アルト 田中 幸一 葱

一等 アルト 木内 篤 苺子

佳作 クロリア 風間 啓三

果物之部

佳作 シヤカラ 山口 金丸
 ○レモン
 ○ザボン

佳作 フロレンソ 結方 光昭
 ○ホシカキ

一等 シヤカラ 貝田 信夫
 ○ラランジャセレット

佳作 アルト 工藤 寛一
 ○ラランジア バロン

佳作 カスカッタ 奥水 利國
 ○バイアナ

一等 カスカッタ 奥水 利國
 ○ネーアル

一等 エスエス 虎岩 頼壽
 ○ペーラ

一等 シヤカラ 山口 金丸 二等 シヤカラ 山口 金丸

二等 エスエス 虎岩 頼壽

アバカ

一等 アルト 田中 左太郎 二等 フロレンソ 古賀 一敏

ジャック

一等 アルト 守者 成夫

西氏

佳作 アルト 小田 順介

出品総点数 二百八十点

外に農務局より特別出品、アラ製より原種、生糸等、その他加工品、高級汁細工、毒蛇カスカベル等の出品がありました。

御礼の辞

不肖バスター聯合青年団々長に就任いたしまして初めての催しでありましたので、農産品評會の成果について心痛を致しました所、各産業組合幹部の方々の理解ある御協力並に各支部団員の奔走及出品者各位の御支援を得まして盛況裡に本會を終了することが出来ました。不馴の爲め種々手違いを生じ、御手配を煩はしましたことと御詫び申上げ、重ねて御礼の辞と致します。

西

微

下 日本から手紙が来ております

クロリア 竹原 惠 様宛 差出人 広島県河井幸雄
 サウテ 大井 浩 様宛 長野 大井 とう
 手紙は植木商店に届いてあります

御詫び

故脇山甚作氏墓碑建立會計報告、印刷物中ウニオン Ⅱ 区 岩原 鈴市 殿 寄附金五拾円とあるは、金壹百拾の印刷間違いに付き、右訂正と共に取扱手落の点お詫申上げ候也
 一九五二年七月十五日
 故脇山甚作氏墓碑建立奉賛會 持別會計

早い勝ち

カーサペルナムブカーナの裏手に木造平家建てが一軒あります。此度この家を取除くことになりまししたので、御希望の方に安くお譲り致します。フランスス瓦一四。枚、ガラス窓セツ上等の扉二枚、母屋は天井、床張、四角クーパー
 大き(18x6x4) 価格三、五〇〇。〇也

前原 辰代

演藝大會 花の御礼

七月十一日の自慢大會と皮功りに十三日のおせ之
居千秋楽迄に、吾大會がすんでからも盛んに
勸進元へ届けられた「花」が何と二十点、否々
二千五百点、一袋に平均二百針入、て居ると五十
セント。由と聞かれには、いかぬがある物好きが
計算したら、移住祭賣出しのリーフより、少
しはかり多いかも知れんゾとの話、何と豪氣なル
のではござんせんか。

多い程よろしい。出演者達への声援だから大い
に結構だが、之と幕合にアナウンサー君が高う
はさ盛りますれど、花のオンレイとやって居ると正
味三十時間かゝる、もらった以上オンレイといはねば
ならず、アルトランテは、外の放送に使はねばなら
ず、とうとう時間不足で未発表が、まだ二んなに
沢山あるので、高うはゴカリマズと週報紙上
にて「花」のオンレイをすることにりました。

週報子

何分頂いた「お花」の数が多くて全部中披露す
ることが出来ませぬ、といて折角の奇芳志と黙殺
もなつかぬますので放送部に於て十三日夜半中に
読上げ得なかつた金を紙上放送することと致しました
左様承知下さい 本田放送局長

- 金老封 上杉ゆう子様へ 宮崎より
- 〃 佐藤よし子様へ 全
- 〃 板垣しづ子様へ 全
- 〃 白須千代子様へ 全
- 〃 町原まゆみ様へ 全
- 〃 古賀栄子様へ 全
- 〃 本田アナウンサー様へ 全
- 金老封 西川様へ シヤカワ岩田より
- 〃 亀甲正雄様へ 全
- 〃 坂本文へ パール水口より
- 〃 落籠丈へ 全
- 〃 永松丈へ 全
- 〃 島本文へ 全
- 〃 岡村ひとみ様へ 全
- 〃 友谷オスカル様へ 阪本真吾
- 〃 木村鈴美様へ 全
- 〃 伊藤みえ子様へ 宮崎より
- 〃 福滝あけみ様へ 全
- 〃 梶山節子様へ 味野より
- 〃 池内利恵子様へ 宮崎より
- 〃 塩田せつ子様へ 全

金老封 時川とし子様へ 宮崎より

- 〃 小池かすみ様へ 〃
- 〃 岡村ひとみ様へ 〃
- 〃 重道信子様へ 〃
- 〃 宇都宮たま様へ 〃
- 〃 森越とし子様へ 〃
- 〃 梶山せつ子様へ 〃
- 〃 戸田のぶ子様へ 〃
- 〃 陸上部へ シヤカワ岩田より
- 〃 塩田節子丈へ 岡本五雄より
- 〃 永松丈へ 〃
- 〃 友谷オスカル丈へ 〃
- 〃 岡村ひとみ丈へ 〃
- 〃 板垣しづ子様へ 佐々木葉子より
- 〃 細江あや子様へ 〃
- 〃 時川とし子様へ 〃
- 〃 小池節味様へ 〃
- 〃 勸進元へ 西々迫より
- 〃 古沢千鶴様へ 味野より
- 〃 石橋丈へ 西川葉子より
- 〃 島本文へ 〃
- 〃 落籠丈へ 杉商店より
- 〃 永松丈へ 〃
- 〃 友谷オスカル丈へ 〃
- 〃 西川丈へ 〃
- 〃 崎田丈へ 〃
- 〃 石橋光雄丈へ 長瀬国松より
- 〃 福滝あけみ様へ 栗 〃
- 〃 塩田せつ子様へ 〃
- 〃 石橋光雄様へ 野島より
- 〃 島本文へ 森谷博より
- 〃 本田アナウンサーへ 奥田保徳より
- 〃 崎田丈へ 〃
- 〃 永松丈へ 木村谷清より
- 〃 重道姉妹様へ 西川葉子より
- 〃 守越嬢へ 〃
- 〃 細江嬢へ 〃
- 〃 梶山丈へ 〃
- 〃 坂本文へ 〃
- 〃 友谷丈へ 〃
- 〃 崎田丈へ 〃
- 〃 岡村ひとみ様へ パール亀口より
- 〃 古賀英子様へ 〃
- 〃 本田アナウンサーへ 〃
- 〃 阪本文へ 甘ん木内より
- 〃 新進元へ 高木さつきより
- 〃 本田アナウンサーへ 〃

引つきましたして花の御礼でござい……

金老封

桑元氏子孫へ	戸田ついで子孫へ	踊り子御一同へ	谷口明子孫へ	島本丈へ	永松丈へ	塩田せつ子孫へ	勸進元へ	中村歌子孫へ	勸進元へ	肥後の駒下駄一同様へ	踊り子一同様へ	島本丈へ	友谷オスカル丈へ	田縮左丈へ	石橋光雄丈へ	古沢千鶴子孫へ	淡原丈へ	重道姉妹へ	伯光團へ	役者一同へ	坂本丈へ	有北れい子孫へ	島本丈へ	崎田丈へ	伊藤みえ子丈へ	前田きよ子嬢へ	崎田丈へ	坂垣群子孫へ	坂本丈へ	落籠丈へ	バスと音楽団へ	守越と子孫へ	重道中姉妹へ	永松丈へ	坂本丈へ	石橋光雄丈へ	藤原おぼえへ	岡田樂団へ	有北れい子孫へ	後藤静子孫へ	林千代香孫へ	湯井ま(都)	後藤みえ孫へ	谷口もえ孫へ	東とみ子孫へ	古賀奈子孫へ	長瀬姉妹孫へ	落籠丈へ	福庵あけみ孫へ	塩田せつ子孫へ	石橋光雄丈へ	上杉三子孫へ	戸田ついで子孫へ	時川と子孫へ	有北れい子孫へ	重道中姉妹孫へ	梶山丈へ	中村歌子へ
竹原より下る	古田義松より	鏡細六十郎より	牧森より	宮村勝良より	橋本登種場より	小茂田受服店より	オクルス光石より	エス。西見より	山石田より	湯井より	池内商店より	池内商店より	杉誠造より	谷口より	古沢清次より	木村辰布より	大家より	森より	大家より	落籠タカ子より	西川薬局より	古沢清次より	谷口より	F区新谷より	奥田一美より	西川玄太郎より	古沢清次より																															

ゴム印・木判彫刻

おんを市用命下さし
 どんふ判でも仕とります
 飾註文は ホト 島本まで
 おん花を伏山頂戴いたしありがたく御礼を傳えます

勸進元孫へ	重道姉妹孫へ	坂本丈へ	崎田丈へ	伊藤美子孫へ	小池姉妹孫へ	戸田ついで子孫へ	本田アツシ子孫へ	芸人一同様へ	湯井姉妹へ	小池姉妹へ	原之嬢へ	重道姉妹友前山とみ孫へ	ア田ついで子孫へ	役者一同へ	カフドボ友谷オスカル君へ	中村アメリヤ孫へ	孫系踊り一同へ	石橋新屋孫へ	古沢チ子孫へ	池内利恵子孫へ	坂本と子孫へ	役者一同	湯井姉妹孫へ	池内利恵子孫へ	戸田ついで子孫へ	落籠丈へ	梶山節子さんへ	浅原さんへ	長岡さんへ	亀甲さんへ	福庵あけみ孫へ	後藤みえ子孫へ	湯井房江孫へ	後藤静子孫へ	落籠丈へ	役者一同へ	時代劇序一同様へ
西川玄太郎	ウエ坂垣操	奥田一美	織田一子	谷口より	カカコニアより	重道千代子	細江より	板垣春熊	中村バルト	F区新谷	守越より	リホリス青空吟社	後藤利美	荒井長谷山より	不ノリス山口三三	作久間オバサン	バル中島	河村忠雄	杉城造	宮城	信太兵衛																

お報らせあり次第
即時出張

撮影機動隊

富崎寫真館

上田平翁

七ころび八を記

しわん坊 作

聖市へ移社

渡伯後はじめてのムンサだが大抵の人が奥地へ奥地へとムンサしてゆくのに上田一家は初志貫徹の熱意に燃え胸ふくらませつゝ大聖市の片ほとりボスケデサウテの一隅に居を構えた。二十数年前のこと、まだその辺は家がちらほらとあるばかり、今ならニントエをい食し手のないような大籠を一二のムンサで借りたといふから此の話もすい分時代ものではある。少しばかり福井植民地でガンニヤした金もあるが、いつまでも遊んでゐるわけにはいかぬ、ふと思ひついたのは、トレスイルモン会社の手務所を訪問したとき室の隅に屑糸が山のように積んであったことである。よしあれを一年に入ればよいと或る日面識のある社長のマロ氏を訪ねて、自分はその屑糸からカタン糸を製造するつもりだから、い女く賣つて下さらぬかと交渉して見た。勿論フラジル語で而かも平翁自らこゝを用ふるので通譯の爲めにセカレと同道するような手は用おなかつた

するとマロ社長平さんの申おでが大まう氣に入つて、よし貴下がそのおつれなら屑糸のことだ、金はいろいろい、何程でも又何日でも取りに来てよろしいといった取りあへずサッコ一はいもらつて、かいついで電車にのろうとするそ車掌がそんな大きな荷物をのせてはいかんといふ、大坊主カタン糸の材料だから捨てるわけにはいかず、としく、其の日はサッコを鼻の下で十キロ以上歩いて帰宅した。いや難儀をしたよ、自働車をけん約したわけさ。

それから竹筒竿を設備をして早速カタン糸の製造に取りか、り一通り見本もよ来たのでこの取引先を……と思つて或る日、領事館を訪ねた、北村さんと云ふ技師と面會していろいろ話して居る内に北村さんが「これはレジストロの海興植民地の松村栄治といふ人の出品した黄爾糸の見本だが何か使ひ途は、あるまいか」といって戸棚に並べてある、より糸をよして見せた、これなりマロ社長の口ハてくれろ屑糸とちがつてカタン糸製糸にはおんし能率が高いであらう、一つ私が使つて見ませうと、その見本を全部、十キロ近くももらつて帰つた。

いよいよカタン糸製糸工場を構想がきつて、実現することになったのである

その内領事館の北村さんから連絡があつたものと見えレジストロ植民地から松村栄治氏が突如来訪して少し申相談したいことがあるから今晚宿へ来て貰へまいかといふ。とうせ長いことセルベ

ジャにも御無言で居ることだ、久しかりに御馳走になつても罰は當るまいと、ノ方から出かけることにした。行つて見る想像しては通り、レジストロの養蚕に関する話である。レジストロの養蚕はマララの配下になつて居るが何分補助が安い、これを植民者の手で生糸にして販賣するならば必ず利する所がある可いといふのである。

即答も出来かねるので考へさせてくれといつて其の夜は別れたが、其後諸方の情報を探り考究して見るとレジストロ地方は海岸山脈を南下した低湿度地帯、桑はよく出来るが氣候が上からも養蚕地帯としては向かない、そのいふ地方で産する繭は、とうしても解除が悪い、製糸をやるとすると最も悪い條件を覚悟せねばならぬ、又折角自分がやり始めればかりのカタン糸製造もとうやう目標のつきかけたところだし、この處、色氣と食氣をこちやませにしたようを氣付で三月ばかり後、レジストロ行きを断ることにした。

泣き面に蜂

カタン糸製造株式会社と云つてもいはばわしと家内の二人の手内職見たいなもので、情たうは日伯新聞に奉職したり夜間学校へ通ふ傍らとこそこのインフレガードなどやつてゐたものさ、たしか次男の精次だつたと思ふが、これがカタン糸の見本もつて石井洋服店へ石黒をたか、よくおほえて居らんがへ行つて、縫糸を買つてくれと交渉を

入植記念祭に

新津牛丸

施願歌

植民地その開拓にちから盡せる
犠牲者の御霊祭りの尊くあるか那

敬老會

老人を敬ひまつるてふりこそぞ
孝行すべき、鏡ともなれ

木トトギス六月号入選俳句

バスター仙人掌社の部

- ピオロンにをぐる夫人や収穫祭
 - 若芝にラケットを投げ足き投げ
 - 眠る子に椅子寄せて鏡ははた神
 - オリオの町一目に椰子の丘涼し
 - 男とも見ゆる漸髪洗ひ居り
 - 鐘打つて客味非番鬪牛士
- 植木水仙子
吹本菊子
大河内枯木
阪東春歩
織田糸音
山本和枝

断然優勝

英国製
ビンクレックタは
ブリックフォス印に限る
附屬品一切取揃へてあります

アールキング

本林 雜貨店

ア・バロス街

各種

石油ガスランプ

日本製 みじん

福助印・日立印

日本製……砥石

ドイツ製金物類

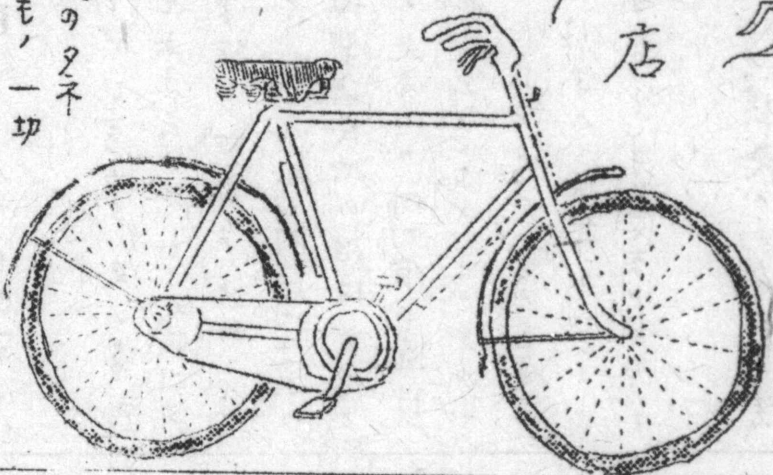
日本産……大和西瓜のタネ

野菜タネモノ一切

アルミニウム製品 何から何まで (ロッセド印)

其他 御贈答品 雜貨

御用命下さいませ



指壓療法とマツサージ

高血圧・リウマチス・神経痛・肩のこり
婦人病・胃腸痛・腰痛・慢性病に通
（出張治療も致します）

池田旅館の横通りをよる

伊藤 藤 知津子

したところ 店主は之を見て「ムッコン惚れ込み製品は
一手に引受けるから、皆持って来なさいと言ふ、半年
余りかゝって作り上げた製品は、ここで一へんに愛用でき
たが、かんじんのジニエロが入って来ない」ここ逆しや
べって平翁は往時を追懐する如く目を閉じた。
半歳が、って仕上げた製品を、やと賣口がついてや
れなむと思つたのも束の間、かんじんの代金が入
つて来ない、情を使ひつけたり平翁自ら主張に
及んたが、時があかぬ、日本に居た時借金を負
ふて債鬼に攻められた覚えはあるが、今度はあるべ
いべだ、それは今の上田一家にとっては血のあるよう
な金だ、何とかして払って貰ひ度いと数回通つて
いる内に、その腹黒洋服は夜逃げをやってしまつて
ホルタは閉じたまゝになつた。聞けば賭博をやつ
てすつてんでんにあつた結果だといふ
「やア全く泣きつらに蜂であつたよ」と泣くような
笑ひ方を平翁はして見せた。

もう今は原料を買ふこともお大ぬので例のイタリ
ア人マオの織物工場から屑糸を分けてもらつて
分けてもらふといふとサイがエローていさいはエエが……
コレウ岐牟訛りです）引つゞきカタン糸製造会社
は倒産一步手前で動いていた、今度は蜂谷商会
へ見本を出して相談した、何とか目黒集がつくかと思
んで居たが、蜂谷さんの懸命な努力にもかかわらず
販賣成績が思はずなものであった、これはどうわ
けかと思つてわけをきくと当時英国産のカタン糸
が大量に輸入されていて値といひ値段といひ、上田
製のカタン糸の方が残念で、落ちるといふのであ
つた、いづれ向ふは大會社の立派な製品であらうと
こちらは吹かぬでも「ふ」とびそうを移住、エリの家庭
工業株式会社が、とても之れは尋常な大刀打は
出来ぬとあきらめて……何、中止したわけではない、カ
タン糸でもうけることだけであきらめ……どうせ勝たん糸
とはじめのかう判つとんだのだが。
斯くてカーサベルカの生活も二年の終りに近つき、う
だつは一向エリ相にないので此の辺で何か新しい機運
を掴まんとには、わしも五〇歳になん／＼といて、
何卒岐牟の大明神様、わしは好きな酒を断ります
るによつて、本業の製糸事業への道を拓かせ給へ
朝夕信心を怠らなかつた
「求のよさうは手へらん」と聖典にある由、これか
ら小説のような奇りき運命が上田家を訪れ、くだ
りとなるのだが例によつて一寸一ふく……。

全伯野球出場

沢谷リスタ線代表決定野球戦始まる

今年はどうあつても戦たなきヤア先祖へ申わけが立た
ん、と交戦野球戦では見事に優勝してゐる手前バスト
ス軍の志氣天をつき、応援団も物まごくカミニオン五台
自動十数台に分乗オクルス球場まで、と押し出した
戦は七月十九日二十日の両日にわたつて続行される。
球神よバストス軍を祝福し給へ

みなさん

バストスの

みなさん

アール

はいいアード

をたくさんもって

居ます一度



お遊びがてり見においで下さい

Bastos Ramallo

引つゞき「花」の御礼と申上げます

此の分は続々無限に勤進元事務所に届きました
おのりで内座ります

工、最初はポストセツテ林武七様より下さるオン花

金老封、岡村 畔嬢へ、古賀栄子様へ、
奥田みよ江様へ、役者一同へ、島本丈へ
崎田丈へ、中村アメリ様へ、重道姉妹様へ
湯井姉妹様へ、前田きよ子様へ、小池姉妹様へ
本田アウチ子様へ、細江絢子様へ、坂垣嬢へ
藤系八重子先生へ、前山嬢へ、バスター音楽団へ

次は 落慶作市様より下さるオン花
金老封先、坂垣しづ子様へ、林千代香嬢へ、
前山トミ子様へ、宇越と子様へ、谷口とも江様へ、
友谷オスカル様へ、

金老封 林千代香様へ、湯井より、
前田きよ子様へ、佐々木薬局より、
有北れい子様へ、島本篤貞様より、
木村鈴美様へ、

谷口とも江様へ、
小池姉妹様へ、
前山とみ江様へ、
宇越と子様へ、

次は 永松 亮様より下さるオン花
金老封先、上杉エウ子様へ、久保三三子様へ、
塩田セツ子様へ、前山トミ子様へ、
宇越と子様へ、

金老封 前山とみ子嬢へ、坂本真吾より、
落慶丈へ、植木商店より、
崎田丈へ、千田五郎より、
坂本丈へ、

陸上部選手一同へ、ハラナ長沢より、
次は石橋光雄様より下さるオン花
金老封 重道姉妹様へ、藤元茂子様へ、
湯井姉妹様へ、木村鈴美様へ、

金老封 役者一同様へ、佐々木薬局より、
藤系の先へ、大久保みか子より、
福滝嬢へ、

又々石橋光雄様より左の方へ下さるオン花
金老封先、塩田せつ子様へ、有北れい子様へ、
福瀧あけみ様へ、谷口とも江様へ、坂垣静子様へ、
上杉エウ子様へ、前山とみ子様へ、久保三三子様へ、

金老封 湯井ひろ江様へ、久保三三子様より、
湯井ひろ江様へ、ツルマストライ木より、
浅系様へ、時川より、
重道姉妹様へ、小池より、
梶山嬢へ、

谷口とも江様へ、
竹原丈へ、
石橋新三様へ、
勸進元へ、
音楽団一同へ、
戸田トミ子様へ、
崎田丈へ、

後茶會長 中野 角
バスター音楽長 中野 角
西川 亥木 郎
十ヶ口 女 給 一同より
モリ 會 長 時 三 馬

金老封 崎田丈へ、
坂垣嬢へ、
宮武丈へ、
崎田丈へ、
福瀧あけみ様へ、
落慶丈へ、
岡村ひとみ様へ、
後茶みち子様へ、
本田五雄様へ、
上杉エウ子様へ、
能見新一様へ、
木村鈴美様へ、
木村鈴美様へ、
昔の恋人より
重道商店より
藤元より
アルテテ劇より
落慶たか子
サウテ平野ファミエ
産道千代子
吹本より
細江より
落慶より
オウリス
山口志代流より
落慶より

香料用ユカリフト植林地帯

視察団員募集

一期日 八月下旬
一 往復汽車賃(二等)本役所及自治会
に負担、宿泊料食費のみ自辨
一 趣意書は七月廿七日発行の週報紙
上に發表いたします

バスターの更生は植林より始まる
目標六十万本(一九五三年度)
受付先着順「霜出」迄申込み下さい

久しぶりの時代劇

昨筆バスター新聞にて在伯同胞を唸らせし
大佛次郎先生の大傑作
おなじみの 杉竹映画

阪東妻三郎 主演
山田五十鈴
月形龍之助
田中絹代
共演

複雑怪奇
徳川 大奥の
伏魔殿をあげ
痛快無比の
ちやんばら劇
面白いのなんの……

来る 七月廿五日
七月廿六日 夜八時より

シネパシテラス